

高山市バスケットボール協会 広報誌

TABBA
Takayama
Amateur
BasketBall
Association
高山市バスケットボール協会

2009-09号 (No.001)

編集・発行：広報委員会



ごあいさつ

夏の各大会が終り、本格的なスポーツの秋が訪れてまいりました。日頃は私共協会の運営に関しましては格別のご協力ご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

この高山の地に高山市バスケットボール協会が発足しましてから市民の皆さんはもとより、各種団体、企業の皆様の温かいご支援のお陰をもちまして、高山の地には立派なビックアリーナという室内体育館が誕生以来、バスケットボール競技も全国各地から、ミニバスケットから社会人、JBLリーグまで、各種の大会が開催できるようになり、全国各地から毎年高山の地を訪れていただく選手が多くなっております。

その間、平成12年にはインターハイ（全国高校総合体育大会）、平成17年全中（全国中学校体育大会）をこの地で開催させていただき、それぞれ好評のうちに高山の名を全国に高め、成功裡に終了させることができました。

このような全国大会の開催につきましては地元の皆様の理解がなくては中々なしえない事業で、この平成24年に開催されます清流国体に関しましても、早々と高山がバスケットボール会場に指定され、全国の若者たちがビックアリーナをメイン会場に熱き戦いが繰り広げられます。

この10月には清流国体の実行委員会が設立され、おもてなしの心を大切に全国各地から高山へ訪れていただく皆様を温かく印象の残る大会としてお迎えいたしたいと各役員の皆様に色々と工夫をして頂いております。

今後とも、高山を若者たちが全国に羽ばたくバスケットの町として隆盛しますようお願いいたしましてご挨拶いたします。

高山市バスケットボール協会 会長
住 吉人

平成21年度中体連 総合体育大会 高山勢大活躍!

高山市バスケットボール協会 中学校競技の部

県大会女子の部

優勝 中山中 準優勝 日枝中

7月から8月にかけて、中体連総合体育大会が開催されました。飛騨地区大会では男女ともに中山中が制し、男子は中山中、女子は中山中、日枝中、東山中が県大会に進出しました。

男子部では、中山中が1回戦を勝ち上がり、ベスト4をかけて春季大会の優勝校、揖斐川中と対戦しました。結果として惜敗しましたが、白熱した試合を見せてくれました。

女子の部では、中山中、日枝中が勝ち上がり、決勝戦で対決するという素晴らしい結果を残すことができました。

女子の2チームはその後の高山市で行われた東海大会に岐阜県代表として出場し、地元開催に華を添えました。

東海大会では惜しくも敗れてしまいましたが、両チームとも堂々としたプレイを見せてくれました。



【東海大会の様子】 中山 vs 藤浪(愛知)



【男子の部】 地区大会優勝の中山中男子



【東海大会の様子】 日枝中 vs 朝明中(三重)



東海大会入場行進



岐阜県中体連大会終えて

野村 恭子

県大会を優勝することができて、本当にうれしいです。

今まで先生やコーチのご指導の下、チームで励まし合いながら日々の厳しい練習に取り組んできました。その成果をこの大会で出せたのだと思います。

また、中学校生活最後の県大会で優秀選手に選んでいただきました。しかし、これは、私一人の力で得ることができたとは思いません。チームメイトの励みや、先生、コーチのご指導、そして、家族の支えがあったからこそ、今の私があるのだと思います。

当日は、たくさんの方が応援に来て下さいました。私たちの優勝にはたくさんの方が関わっています。その人たちへの感謝の気持ちを忘れずに後輩へ伝えていきたいです。

岐阜県中体連大会 優秀選手に選ばれて

根津 明日香

私が優秀選手に選ばれたときは驚きました。まさか自分が選ばれるとは思っていなかったからです。

これまで、試合に出られず、悔しい思いをしていたこともありましたが、私は、そんな悔しさをバネに練習を必死で取り組みました。その成果もあり、だんだんと試合に出してもらえるようになりました。試合に出たら、とにかく練習でがんばってきたことを試合で発揮するというだけを考え、必死でプレーしてきました。試合で失敗をすることももちろんありました。そんな時はその失敗を取り返そうと必死でプレーしてきました。

こうやって、これまで必死でやってきたことが認められて嬉しく思います。また、苦しいこともありましたが、がんばってきてよかったと改めて実感しました。

選手

の

ことば

がんばってます!

高山西高等学校女子バスケットボール部

高山市バスケットボール協会 高校競技の部

打江謙二監督が平成5年に赴任して以来、常に県上位に位置し、素晴らしい成績を収めている高山西校等学校女子バスケットボール部であるが、今年度は新たに中国から2人の大型プレイヤーを迎え、2000年高山インターハイ以来のインターハイ出場に闘志を燃やしている。

選手

の

ことば

高山西高等学校女子バスケットボール部 キャプテン
朝熊 純の

私たち高山西高等学校女子バスケットボール部は、3年生10名、1・2年生各8名の合計26名のメンバーです。3年生のうち5名は、受験勉強の為に引退し、現在21名のメンバーで日々練習に取り組んでいます。

今年5月に行われたインターハイ予選では、決勝で岐阜女子相手に50点差をつけられ、目標としたインターハイ出場を逃しました。そこで私たちは改めて自分たちの練習に対する意識の甘さ、そして精神的な弱さに反省させられました。

受験勉強の為に引退した者、ウィンターカップへ向けて練習を続ける者、それぞれに目標は異なりますが、お互い自分たちの今やらなければならない事に向かって精一杯頑張っています。

10月下旬よりウィンターカップ予選が始まります。3年生にとってこの大会が最後です。3年間の集大成として、今までお世話になった先生方、保護者の皆様方に感謝し、高山西高らしいプレーで戦っていきたいと思います。

また、インターハイ予選での屈辱を晴らすために、精一杯練習に励み、悔いの無い戦いをしたいと思います。



高山ミニバスケットボールクラブ アベック優勝!

高山市バスケットボール協会 ミニ競技の部

8月23日(日) 飛騨高山ビッグアリーナにおいて行われた、第23回岐阜県ミニバスケットボール夏季大会において、高山ミニバスケットボールクラブ 男子(Dブロック)・高山ミニバスケットボールクラブ 女子(Bブロック)はそれぞれ優勝しました。この結果、10月17日(土)・18日(日)に関市総合体育館において行われる、第22回イチイ杯への出場権を獲得するとともに、11月に行われる、第32回岐阜県ミニバスケットボール大会のシード権も合わせて獲得しました。

男子

第1試合は大野(西濃3位)と対戦しました。大野は第1試合を勝ち、優勝に王手をかけていました。そんな中試合は始まり、第4Q途中までリードされる苦しい展開(最大11点差)でしたが、持ち前の粘り強いディフェンスからの速攻で、41-34でからくも逆転勝ちしました。



高山 vs 大野
41 $\left[\begin{array}{l} 06-08 \\ 11-08 \\ 06-10 \\ 18-08 \end{array} \right]$ 34

高山 vs 長森日野
54 $\left[\begin{array}{l} 15-08 \\ 12-06 \\ 17-10 \\ 10-06 \end{array} \right]$ 28

第2試合は長森日野(岐阜2位)と対戦しました。第1試合とは打って変わって、相手をよせつけず終始リードのまま、54-28で勝ちました。

女子

第1試合は揖斐(西濃4位)と対戦しました。終始圧倒し、77-25で勝ちました。



第2試合は瑞穂(岐阜2位)と対戦しました。勝った方が優勝の一番で、第1Qはリードを許す展開となり、前半2点リードで折り返しました。第3Qから本来のディフェンスが機能し、終わってみれば76-28の大差で勝ちました。



高山 vs 揖斐
77 $\left[\begin{array}{l} 21-08 \\ 16-06 \\ 18-07 \\ 22-04 \end{array} \right]$ 25

高山 vs 瑞穂
76 $\left[\begin{array}{l} 11-13 \\ 14-09 \\ 31-06 \\ 20-00 \end{array} \right]$ 28

その他の試合結果

中学校 (平成21年度中体連総合大会)

男子

日枝中 地区大会1回戦敗退
松倉中 地区大会1回戦敗退
中山中 地区大会優勝、県大会ベスト8
東山中 地区大会4位
国府中 市大会5位

女子

日枝中 県大会準優勝、東海大会1回戦敗退
松倉中 地区大会1回戦敗退
中山中 県大会優勝、東海大会1回戦敗退
東山中 地区大会3位、県大会1回戦敗退
国府中 地区大会1回戦敗退
北稜中 市大会7位
清見中 市大会4位

高等学校 (平成21年度高校総体)

男子

斐太高 地区大会2位、県大会ベスト8
高山高 地区大会1回戦敗退
高山西高 地区大会1位、県大会ベスト8
高山工業 地区大会3位、県大会1回戦敗退

女子

斐太高 地区大会1位、県大会1回戦敗退
高山高 地区大会2位、県大会ベスト16
高山西高 県大会準優勝、東海大会ベスト8

一般 (地区)

男子

高山クラブ 3回戦敗退
ROMPS ベスト16

女子

高山クラブ ベスト8

編集後記

高山市のチームの活躍をみて、ふと私の中学時代を思い出しました。私もこの高山で育ち、市内の中学校でバスケの練習に取り組んでいました。当時は、社会人コーチの方が、私たちを指導して下さいましたが、高山らしいとても厳しい練習でした。しかし、今振り返ると、そこで培ったものは、私にとって大きな財産になっています。また、某中学校で、もっと厳しい先生に指導して頂いていた同級生たちも、バスケ

を通して、たくさんのごことを学んだと言っていました。

高山のチームの選手たちは、日々厳しい練習に励んでいることと思います。きっとこの選手たちも、バスケを通して、人生における大切な何かを得ているのだらうと思います。高山市バスケットボール協会に関わるみなさんは、直接的にしろ、間接的にしろ、高山の子どもたちを育てて下さっています。これからも、よろしくお願い致します。J.N